

TCU ダイバーシティ通信

Jul, 2026 vol. 21



CONTENTS

- P 1 ダイバーシティ推進室長からのご挨拶
- P 2 2026 年度 委員・室員の紹介
- P 3 【Pick Up】図書館企画展示：多様性を知る一步に「プライド月間」
- P 4 【NEWS】HP リニューアル（多目的トイレ・UD マップ）・生理用品無料設置
- P 5 【アンケート結果】ダイバーシティ（多様性）に関する理解度チェック
- P 9 【連載企画】ワーク・イン・ライフ 第4回
- P 10 コラム「窓」 新企画！
- P 11 ダイバ視点（4コマ漫画）/ 新着図書のご紹介

※見出しをクリックすると該当ページに移動します

DIRECTOR'S MESSAGE

ダイバーシティ推進室長からのご挨拶

平素はダイバーシティ推進室の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたびダイバーシティ推進室長を拝命いたしました機械システム工学科 関口和真です。本室ではこれまで、ダイバーシティ環境の実現に向けて「意識改革」「環境整備」「次世代育成」を柱に活動を進めてまいりました。4月から新しい体制になりましたが、今年度もこれら3つの柱を継承し、着実に実施してまいります。



そのうえで、私が室の運営において特に大切にしたいのは、ダイバーシティ推進室が「多様性を受け入れられない環境」の中で困っている人と「一緒に考えてくれる場」であることです。多様性をめぐる課題には、すぐに正解の見つからないものも少なくありません。だからこそ、本室は「正解を示す場」ではなく「ともに考える場」でありたいと願っています。

毎年、各種アンケートで皆様のお手を煩わせておりますが、皆様からのご意見は活動を改善していくうえで何よりのヒントです。今年度もぜひ積極的にお声をお寄せください。大学に集うすべての方が気持ちよく過ごせるよう、室員一同、一丸となって取り組んでまいります。どうぞご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

2026 年度 ダイバーシティ推進委員会委員

委員長	中村 雅子	副学長
委員	森 博彦	情報工学部長
	宇都 正哲	都市生活学部長
	岡部 大介	メディア情報学部長
	久保 哲也	学生部長
	関口 和真	ダイバーシティ推進室 室長
	水谷 茂喜	常務理事兼経営戦略局長
	菅沼 直治	総合企画局長兼総合企画局企画・広報部 部長
	新堂 孝	常務理事兼総務局長
	長縄 健吾	常務理事兼財務戦略局長
	住田 暁弘	大学教学局長
	伊東 明美	学長特別補佐
	岩野 公司	副学長 国際委員会委員長
	吉田 重幸	経営戦略局人事戦略部部長
	秋山 覚	経営戦略局人事戦略部人事課 課長

2026 年度 ダイバーシティ推進室室員

室長	関口 和真	理工学部 機械システム工学科 教授
副室長	小野村 史穂	建築都市デザイン学部 都市工学科 准教授
	兵法 彩	環境学部 環境経営システム学科 准教授
	林 和真	都市生活学部 都市生活学科 准教授
	リーラ プロビドリアンダ	都市生活学部 都市生活学科 准教授
室員	ニーナ スヴィリドヴァ	情報工学部 知能情報工学科 准教授
	矢吹 理恵	メディア情報学部 社会メディア学科 准教授
	山口 敦子	デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科 教授
	岩田 遵子	人間科学部 人間科学科 教授
	井村 祥子	共通教育部 人文・社会科学系 准教授
	酒井 優季	経営戦略局DX推進部DX推進課 事務員
	森下 覚	総合企画局企画・広報部企画・広報課 課長補佐
	相磯 将太	総合企画局研究・社会連携推進部研究推進課 事務員
	松岡 ゆかり	財務戦略局財務部財務課 事務員
	立花 秀樹	大学教学局国際部国際課 課長
	渡邊 光洋	大学教学局学生支援部学生支援課 課長
	伊東 明美	理工学部 機械工学科 教授
	佐々木 美智子	経営戦略局人事戦略部人事課 課長補佐
	廣澤 勇太郎	総務局施設部施設課 課長

2025 年度に委員・室員としてお力添えいただいた皆さま、一年間ありがとうございました。
今年度はこちらのメンバーで活動してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【Pick Up】

図書館企画展示：多様性を知る一步に「プライド月間」

6月は「プライド月間（Pride Month）」として、世界各地で性の多様性を（LGBTQIA+）への理解を深め、権利の尊重と差別の解消を考える機会とされています。虹色のレインボーフラッグは、多様な生き方を肯定し「誰もが自分らしく生きてよい」というメッセージを私たちに伝えています。

私たちの社会には、多様な性のあり方が存在していますが、これまで「当たり前」とされてきた価値観や無意識の前提が、知らず知らずのうちに誰かの生きづらさにつながっている場合があります。プライド月間はそのような課題に目を向け、互いの違いを尊重し合う視点を育む大切な機会です。

本学ではこの期間に合わせて図書館で関連図書の企画展示を行っています。展示では、教育現場での理解を促すガイドブックや歴史がわかる本、子ども向け絵本まで幅広い資料を紹介しており、それぞれの関心や理解の段階に応じて、多様性について学ぶことができます。

大学は、多様な背景や価値観を持つ人々が出会い、学び合う場です。一人ひとりが安心して自分らしくいれる環境づくりのために、特別な知識は必要ありません。「決めつけない」「否定しない」「理解しようとする」という姿勢が何よりも大切です。

プライド月間は、特定の誰かの問題ではなく私たち一人ひとりに関わるテーマです。この機会に自身の価値観を見つめなおし、多様な生き方を認め合うことについて考えてみてはいかがでしょうか。図書館の企画展示だけではなく、ダイバーシティ推進室でも多数の関連書籍を貸し出しています。

▶ https://www.diversity.tcu.ac.jp/diversity_hp/rentalbooks/

また、「何から始めればよいかわからない」「誰に相談すればよいかわからない」と感じている方や、ご自身のこととして悩んでいる方もいるかと思います。ダイバーシティ推進室では、そのような相談事に関して安心して話せる場を用意しています。

小さなことでも構いませんので、ぜひ気軽に足を運んでください。

ダイバーシティ推進室ジェンダーギャップ・女性活躍プロジェクト
（環境学部 環境経営システム学科 兵法彩）



世田谷キャンパス図書館



横浜キャンパス図書館

【NEWS】

HP をリニューアルしました（多目的トイレ・UD マップ）

トップページはユニバーサルデザインを採用し、明るく見やすい構成に刷新。3つのプロジェクト「環境整備」・「次世代育成」・「意識改革」を中心に配置し、活動の趣旨が直感的に伝わるよう工夫しました。また、スマホからも閲覧しやすいデザインになっています。さらに4つのナビゲーションボタンを設け、必要な情報へ迅速にアクセス可能です。このほか、多目的トイレマップを更新し、世田谷キャンパスにはユニバーサルデザインマップ（UD マップ）を新設しました。今後のお知らせは NEWS 欄で発信していきます。



ダイバーシティ推進室・新ホームページ

▶ https://www.diversity.tcu.ac.jp/diversity_hp/



多目的トイレマップ



UD マップ

本年も、生理用品の無料設置を行いました

ダイバーシティ推進室では、5月28日の「世界月経衛生デー」にちなんで、期間限定で、女子トイレ（SC16カ所、YC6カ所）に生理用ナプキンを無料設置しました。「世界月経衛生デー」とは月経に対する偏見や貧困をなくし社会的に意識を変えることを目的として制定された日です。アンケートも実施し、好評のコメントが多く寄せられています。



学内掲示ポスター



設置トイレ案内



生理用品収納BOX



トイレ内設置状況

【アンケート結果】

2025 年度
教職員向け「ダイバーシティ（多様性）に関する理解度チェック」集計結果

- ・実施期間：2026年4月7日（火）～4月17日（金）
- ・対象者：常勤教職員（派遣社員含） 599人
- ・実施方法：Microsoft Forms
- ・回答率：40％（回答者240名） ※内訳：教員57％ 職員：43％
- ・職区分ごとの回答率：教員42％・職員38％

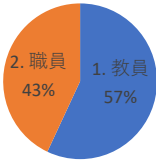
◆2025年度 教職員向け「ダイバーシティ（多様性）に関する理解度チェック」回答率推移

	対象者	回答者	内訳			職区分ごとの回答率	
			回答率	教員	職員	教員	職員
2019年	456	228	50%	58%	40%	—	—
2020年	448	239	53%	60%	39%	48%	67%
2021年	447	244	55%	58%	36%	45%	65%
2022年	431	212	49%	54%	42%	38%	68%
2023年	486	196	40%	60%	36%	41%	36%
2024年	584	202	35%	56%	44%	37%	32%
2025年	599	240	40%	57%	43%	42%	38%

設問1. あなたの教職員区分を教えてください。

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1. 教員	58%	60%	58%	54%	60%	56%	57%
2. 職員	40%	39%	36%	42%	36%	44%	43%

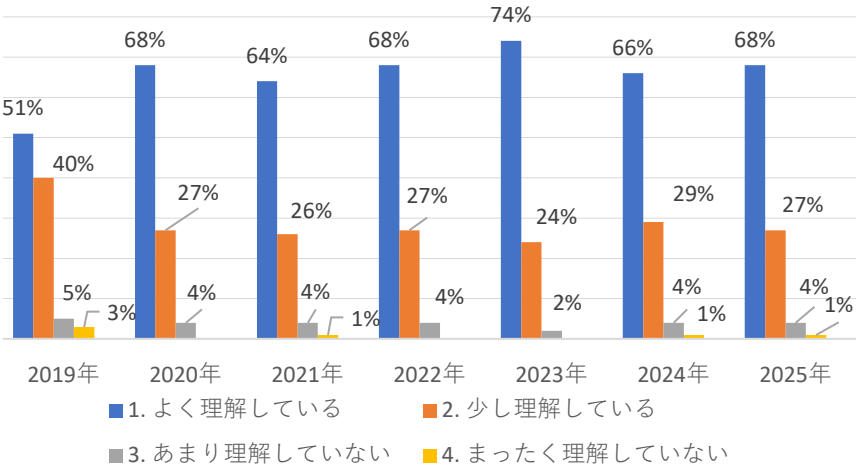
2025年



■ 1. 教員 ■ 2. 職員 ■ 3. 未解答

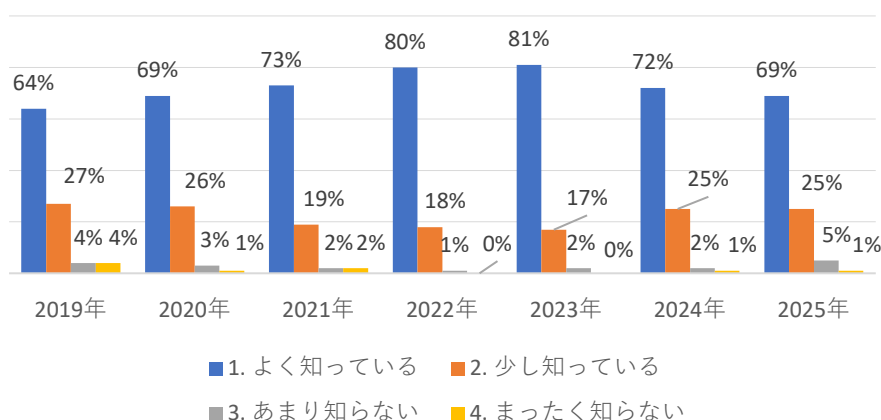
設問2. 大学運営にもダイバーシティ環境の実現を推進することが重要であることを理解していますか？

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1. よく理解している	51%	68%	64%	68%	74%	66%	68%
2. 少し理解している	40%	27%	26%	27%	24%	29%	27%
3. あまり理解していない	5%	4%	4%	4%	2%	4%	4%
4. まったく理解していない	3%		1%			1%	1%



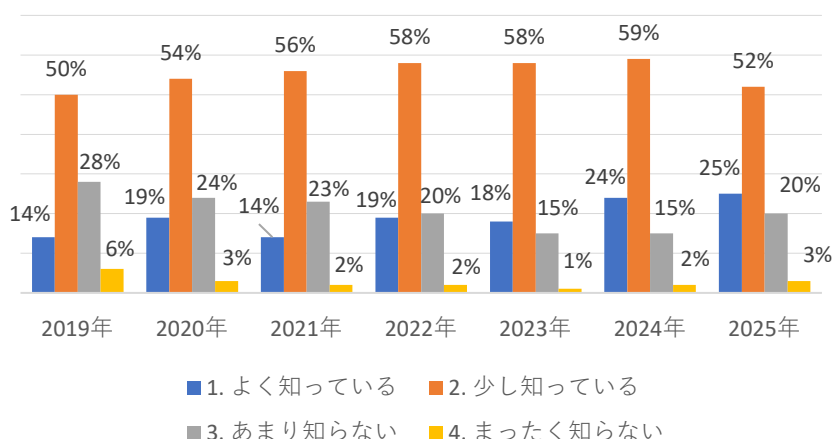
設問3. 本学にダイバーシティ推進室があることを知っていますか？

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1. よく知っている	64%	69%	73%	80%	81%	72%	69%
2. 少し知っている	27%	26%	19%	18%	17%	25%	25%
3. あまり知らない	4%	3%	2%	1%	2%	2%	5%
4. まったく知らない	4%	1%	2%	0%	0%	1%	1%



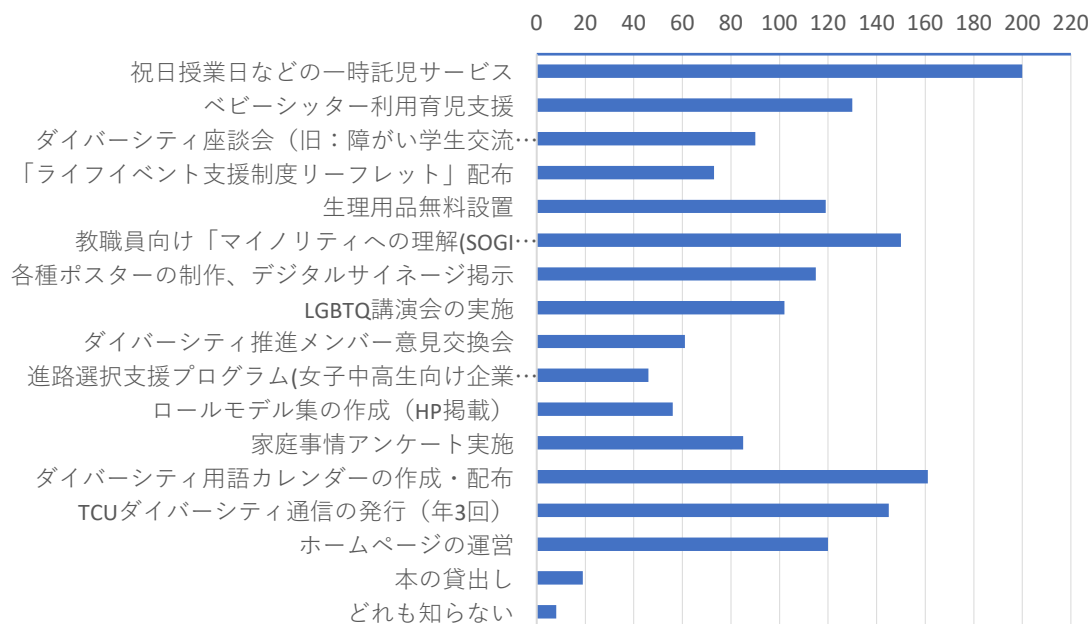
設問4. 本学のダイバーシティ推進室の活動内容を知っていますか？

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1. よく知っている	14%	19%	14%	19%	18%	24%	25%
2. 少し知っている	50%	54%	56%	58%	58%	59%	52%
3. あまり知らない	28%	24%	23%	20%	15%	15%	20%
4. まったく知らない	6%	3%	2%	2%	1%	2%	3%



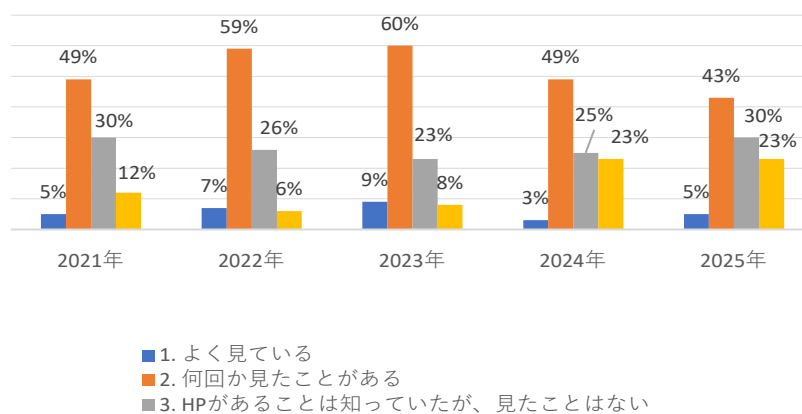
設問5. 以下はダイバーシティ推進室が2025年度に行った活動です。
知っているものを全てチェックしてください(複数回答可)

	2025年
祝日授業日などの一時託児サービス	200
ベビーシッター利用育児支援	130
ダイバーシティ座談会（旧：障がい学生交流会）	90
「ライフイベント支援制度リーフレット」の作成・配布	73
生理用品無料設置	119
教職員向け「マイノリティへの理解(SOGIチェックリスト) アンケートの実施	150
各種ポスターの制作、デジタルサイネージ掲示	115
LGBTQ講演会の実施	102
ダイバーシティ推進メンバー意見交換会	61
進路選択支援プログラム(女子中高生向け企業見学バスツアー) の実施	46
ロールモデル集の作成（HP掲載）	56
家庭事情アンケート実施	85
ダイバーシティ用語カレンダーの作成・配布	161
TCUダイバーシティ通信の発行（年3回）	145
ホームページの運営	120
本の貸出し	19
どれも知らない	8



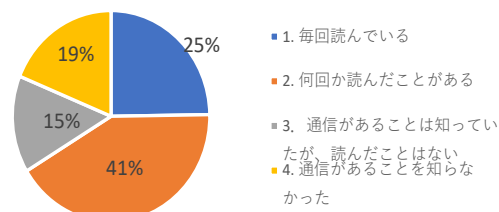
設問6. 本学ダイバーシティ推進室のホームページを見たことがありますか？

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1. よく見ている	5%	7%	9%	3%	5%
2. 何回か見たことがある	49%	59%	60%	49%	43%
3. HPがあることは知っていたが、見たことはない	30%	26%	23%	25%	30%
4. HPがあることを知らなかった	12%	6%	8%	23%	23%



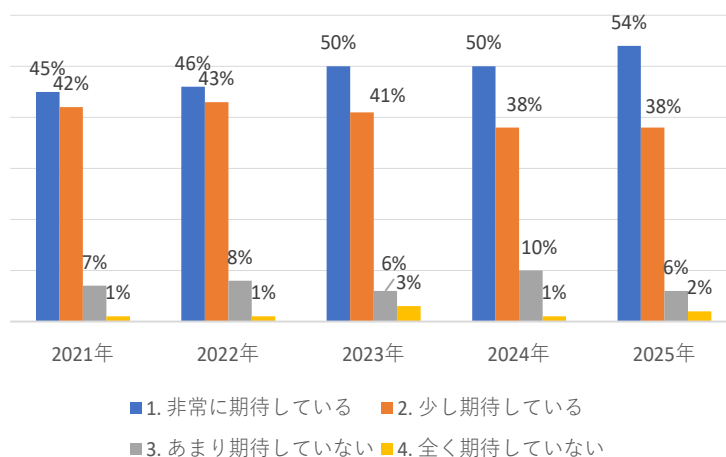
設問7. TCUダイバーシティ通信（年発行）を読んでいますか？

	2025年	
1. 毎回読んでいる	25%	59人
2. 何回か読んだことがある	42%	100人
3. 通信があることは知っていたが、読んだことはない	15%	36人
4. 通信があることを知らなかった	19%	45人



設問8. ダイバーシティ推進室へのあなたの期待度を教えてください。

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1. 非常に期待している	45%	46%	50%	50%	54%
2. 少し期待している	42%	43%	41%	38%	38%
3. あまり期待していない	7%	8%	6%	10%	6%
4. 全く期待していない	1%	1%	3%	1%	2%



【連載企画】

ワーク・イン・ライフ 第4回

「ワーク・イン・ライフ」とは、仕事（ワーク）を生活（ライフ）の一部と捉え、両者を対立するものではなく、調和させて考える概念のことです。生活を適切に調整し、お互いが良好な関係を保つ状態を指している「ワーク・ライフ・バランス」に対し、「ワーク・イン・ライフ」では、仕事を自分の人生の中に組み込み、相互作用をさせることで充実した生き方が実現すると考えます。本連載では、「ワーク・イン・ライフ」を実現するために、豊かな人生を送る上での工夫や、若い方々にむけたメッセージなどを紹介します。第4回目は、長縄健吾 財務戦略局長よりご寄稿いただきました。



私のワーク・イン・ライフ

財務戦略局長 長縄健吾

私は伊豆の生まれです。実家は小・中・高と、それぞれの学区の端にありました。進学や転校のたびに、私はいつも外からやってくる少数派であり、新しい環境に飛び込むことが当たり前でした。基本的には同じ年の世界でしたが、この環境が、私にとって「外に出ること」や「異なる価値観に触れること」を自然なものにしていきました。

大学は別の地方の総合大学で、全国、さらには海外から集まる学生と共に生活し、特定の主流派が存在しない環境に身を置きました。スキーサークルや寮生活、アルバイトを通じて、専攻分野も家庭の経済環境も価値観も世代も大きく異なる仲間や先輩方と関わり語り合う中で、「自分の当たり前は必ずしも他人の当たり前ではない」という感覚が、身体に培われたと感じています。

社会人になってからも、社内異動や五つの出向先、社内ではグループ会社支援業務など、多様な文化に触れる機会に恵まれました。業種、規模、制度の異なる組織で働く人々と向き合う中で、「どうすれば一緒に前へ進めるか」を考える姿勢が、自分の強みとして育っていったように思います。

一方で、異なる主張をすることで浮いたり、疎外感を覚えたりする場面もありました。エスカレーター式の学校出身者や、同じ業務を長く続けてきた組織に対し、「小さな世界に閉じこもっているのではないか」と感じたこともあります。しかし同時に、そうした人々に対して私自身が逆方向の偏見を抱いていたことにも気づかされました。世界は広く、私の知っている範囲など、ほんの一部にすぎません。私の経験値の振幅などは、広い世界の多様性の中では、例えば雄大なアルプスも地球上の皺程度であることと同様に、ほとんど直線です。

それでも、どれほど環境が変わっても、向き合い方の基本は変わりません。わからないことを「わからない」と受け止めること。「わからない」と保守的な態度になりがちですが、まず否定せず心を開くこと、相手の背景に思いを寄せること、そして違いを脅威ではなく新しい情報として扱うこと。信頼して相互に尊重し合うことは、どこであっても通じる普遍的な態度だと感じています。自身の価値観に無意識のバイアスが刻まれていることを意識して慎重に受け止めるのです。

かつて地域の端から外の世界へ踏み出し続けてきた私にとって、大学という場は、まさに多様な価値観が交差し合う「Universe」です。学生にその価値を提供する私たち教職員も、大学組織もまた、自らの世界を広げ続け、多様性を取り込み、互いの違いを尊重しながら前へ進む、柔軟な組織でありたいと願っています。

コラム「窓」

このコラムは、窓を開けて風通しをよくするように、多様な価値観や考え方が行き交う場にしたいという思いから「窓」と名づけました。ダイバーシティに対する思いや期待、日頃の気づきなど、皆さまの声を広くご紹介していきます。テーマは問いません。ぜひお気軽にご投稿ください。



誰かにやさしいものは、みんなにやさしい

4月にDX推進課へ配属されてから、日々の業務の中で「DXとは何か」「誰のためのものか」を考える機会が自然と増えてきました。

その中で感じているのは、DXとダイバーシティは切り離せない考え方だということです。業務の仕組みやシステムは、特定の誰かだけのためにあるものではなく、さまざまな立場や状況にある人が利用します。

だからこそ、「多くの人が迷わず使えること」を前提に設計することが重要だと感じています。例えば、動画に字幕があれば音を出せない環境でも内容を理解できますし、読みやすい文字や分かりやすい表現も、多くの人にとって使いやすさにつながります。こうした工夫は、もともと特定の誰かのために考えられたものかもしれませんが、結果としてより多くの人に価値を広げていくものです。

これは業務の仕組みづくりにおいても同様です。説明を読まなくても直感的に使える仕組みは、それだけで安心感を生み、利用のハードルを下げます。その小さな「使いやすさ」の積み重ねが、日々の業務を着実に支えているのだと思います。

多様な人が関わることを前提に考えること。最初から無理なく使える形で整えていくこと。それは特別な配慮ではなく、これからの業務における当たり前になっていくのではないのでしょうか。私自身、業務の中でこの考えを大切にしていきたいと思います。

DX推進課 酒井



ダイバ視点

(1) 夫四段活用 内筒 潤



新企画！ダイバ視点

ダイバーシティな視点で日常のあるあるを切り取った4コマ漫画「ダイバ視点」が新連載!!! ※作者名はペンネームです
あなたの周りの思わず共感してしまう“エピソード”をお寄せください。下記「ご意見はこちらから!」フォームより、ご投稿お待ちしております。

新着図書のご紹介

ダイバーシティ推進室では、さまざまな関連図書を取り揃えています。ぜひお立ち寄りのうえご利用ください。貸し出しも行っております。

『多文化世界～違いを学び未来への道を探る』

原書第3版

出版社:有斐閣

著者:G・ホフステード、G・J・ホフステード

M・ミンコフ

訳:岩井八郎・岩井紀子

オランダの社会心理学者であり文化次元理論の提唱者として知られるホフステードらによって書かれた多文化理解の分野における代表的な名著。1995年の出版以来、現在までに第3版が刊行されており、世界のさまざまな文化の違いを「文化次元」という独自の視点で分析しています。異文化への理解を深め、多文化共生について考える上で多くの示唆を与えてくれる一冊です。



コラム「窓」へのご投稿はこちらから！

皆様からのご投稿をお待ちしております。

ぜひ、下記リンクよりご投稿ください。

<https://forms.gle/NfRCLbn7WNR5eBg38>



ご意見はこちらから！

ダイバーシティに関するご意見を

お気軽にお寄せください。

<https://forms.gle/eUxx6XdtYQS3mKhCA>



東京都市大学ダイバーシティ推進室（世田谷キャンパス 1号館3階 1308室）

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 TEL:03-5707-0104

Mail:diversity@tcu.ac.jp <https://www.diversity.tcu.ac.jp>



ダイバーシティ推進室
Diversity Promotion Office